

■ドイツ：イノジー社、洋上風力事業の一部売却を検討

2019年1月25日付のエネルギー情報サイトは、ドイツの大手エネルギー事業会社のイノジーが、保有する洋上風力発電事業の一部売却を検討していると伝えた。対象となる Sofia 洋上風力発電所案件は、総出力 120 万 kW で、英国（イングランド北東部）沖合 65km で計画されている。2019年5月に予定されている次回の FIT-CfD（差額決済方式の固定価格買取制度）で買取枠を獲得することが出来るかによって、イノジーとしての最終投資判断を行うことになる。当該案件は送電事業者の National Grid と送電接続に関する条件で合意済みで、そのほかの必要な許認可も取得し、イノジーが 100% 権益を保有している。イノジーは、早期に権益を売却し速やかに投資回収を行うことで事業リスクを低減する戦略をとっており、2018年には 86 万 kW の Triton Knoll 案件の一部を関西電力と電源開発に売却している。